

クラブ ファンタジーだより

No. 29 2003・4



「あいつ」



会長 岡田 晴美

核兵器問題などによって世界は大きく揺れ動いておりますが、神戸女学院では平和に勉学の機会を与えられた新しい学生達を迎えて、桜の花も、より華やいで見えております。

今回は、ご多忙中の日野原重明先生に御寄稿頂き、近年、特に注目されております「音楽療法」についての特集とさせて頂きました。この分野では、ご活躍の卒業生がいらつしやいます、誠に心強い思いでございます。

また今年には旧師の大澤寿人先生（元、音楽学部教授）の没後五十年を迎えて、再び高く評価されており、ますますは、お教え頂いた者にとつては大変懐かし、このように優れた先生が教授でいらしたということに誇

りを感じます。（9ページ参照）

さてクラブファンタジーの会費納入の件について、以前より会員の皆様からご意見を頂いておりましたので、毎年納入するという煩雑さを整理し、五年に一度、納めて頂くことに致しました。今後も皆様のご協力くださいますようお願いいたします。

これまでクラブファンタジーの会議室としてM75 I様のご厚意により西宮北口でマンションの一室を使用させて頂いておりましたが、六月より女学院めぐみが、

会館を使用させて頂くこととなりました。ご盡力くださいました関係者の方々に心から感謝致しております。

顧みますと、私達の学生時代は戦争に翻弄され、日本が現在のアフリカなどのように食料もなく、苛酷な学生生活でしたが、毎朝の礼拝には全員が必ず出席し、クロージャーの校章を胸に、何時も神戸女学院の学生であることの誇りを持ち、恥ずかしくない行動を心掛けました。誠に残念なことに近年は礼拝に出席する学生が激減したと聞いて

クラブファンタジー賞



120 鴨門 千恵 (P)

暖かい日差しが訪れ、木々に新緑が芽生えます。岡山はひとさわ美しくなつて出会いの季節を迎えます。

せん。

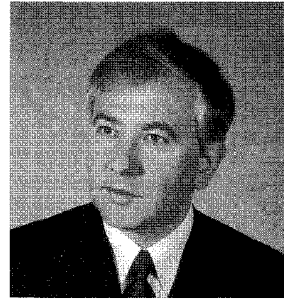
おりますが、私達の専攻しました「音楽」とは、キリスト教と共に興隆した歴史を持ち、「宗教」と「愛」が無くては成立しないものであると確信しております。多くの卒業生が話されますことは、「卒業後、年が経つほど、学生時代にキリスト教教育を受けたことに、喜びと感謝の念を抱くようになる」ということです。神戸女学院が伝統を守りながら新しい風を取り入れて、何時までも優れた学び舎でありますことを、心から祈っております。

私も神戸女学院で温かく御指導くださる先生方、事務職員の方々、大切な友人たちに出会うことができました。今春卒業するにあたりこのような立派な賞を頂きました。誠にうれしく思います。誠にうれしく思いますと共に、大変お世話になった皆様への感謝の気持ちには言葉で言い尽くせま

音楽に様々な角度から触れられる専門科目に加え、他分野の授業においても音楽について考える機会を与えられるなど、音楽を軸に自分らしく学ぶことができました。

神戸女学院で過ごしたかけがえのない学生生活を心身の糧として、これからも日々精進して参ります。

またいつの日か！ アンジェイ・ピケル



年末は私達に過ぎ去った
時のことを思い出させます
が、同時に自分の成し遂げ
て来たことを思い起こさ
せます。今終わろうとして
いるこの年は私にとって非
常に大きな意味のある年と
なりました。日本で過ごし
た数ヶ月と神戸女学院での
仕事は、新しい経験や友情、
影響をもたらし、私をより
豊かにしてくれました。

今までも私は日本に來

Profile

1954年生まれ、ポーランド国籍。1980年クラウ音楽院修了。1983年ウィーン音楽院修了。1982年ザルツブルグの Festival Szene der Jugend をスタートにヨーロッパ各地、日本、ブラジル、チリ、コロンビアなどでリサイタル、オーケストラとの協演を行っている。その他ポーランド、ドイツ、スイスにも出演、CD録音やポーランド作曲家達など毎年活躍している。シフ国際コンクール1位。クラウ音楽院国際交流及音楽振興委員会副総長。

たことがあり（一九九五年、一九九七年）日本についての知識は少しありましたが、これまでの滞在は数週間程度で短いものでした。そのため、日本の文化、生活、人々の漠然とした印象しかありませんでした。この数ヶ月で、全てのヨーロッパ人にとって魅力的な国である日本のことをより深く知ることができたように思います。

神戸女学院は緑の丘にあり、芸術的な仕事をする上で理想的な環境にあります。ですが、最初のうちは私にとっても学生にとっても容易とは程遠い状況にありました。相互コミュニケーションの困難さが最大の問題でした。残念なことに若い皆さんは、今日の社会で、特に若い音楽家に求められて

いる外国語の重要性を未だ理解されていないようです。私自身自分の意図をより的確に伝えるため、日本語で最も基礎的な言葉を会得しようと試みました。結果ももちろんですが学生との共同作業を私は重視するからです。時がたつに従って彼女達の芸術への意識は高まっていきました。私はできるかぎり学生にヨーロッパ文化の「宝」を伝えようとしてきました。ポーランド、オーストリア（P・B・スコダ）、フランス（V・ペルルミュテール）、イタリヤ（G・アゴスティニ）で

学ぼうちに私自身が学んだことです。ここで、大きな喜びとともに私の生徒達の上達と成功に心からの賛辞を送りたいと思います。和田紗矢香さん、平賀理恵さん、小川沙佳さん、柳生純子さん達は種々のコンクールにおいて受賞されました。本当におめでとう！

私は大好きな作曲家の一人であるアルベルト・ヒナステラのピアノソナタにつ

いて講義し、演奏する機会にも恵まれました。また、シヨパンのスタイルについて主要な特徴の短いまとめをお話することもできました（どちらも大学院の講義で）。残念なことに時間の制約のため、私自身が直系の後継者であるカルロ・シマノフスキーの作品に関する演奏スタイルについてはお話しすることができませんでした（私の教授であるT・ズムジンスキーはシマノフスキー音楽の最も著名な解釈者です）。将来お話しする機会があることを願っております。

日本で過ごした日々の中、私はいくつか重要なコンサートでピアノリストとしての腕を披露する機会に恵まれました。京都と東京では主としてF・シヨパンや現代ポーランド人作曲家の作品を演奏しました。

学部長の前中明子先生や同僚の皆様！音楽学部の教授陣は皆様温かく私を迎え入れて下さいました。働きやすい気持ちのいい雰囲気

を有難うございました。聴かせて頂いた神戸女学院の先生方による演奏会は深い芸術的経験の源となりました。事務局の皆様、特に河野有宏さんにも感謝申し上げます。皆様にはいつもご親切に助けて頂きました。あの素晴らしい図書館も何度も利用しました。

学院の金子敏男先生と、同僚の岩田朋子先生にはご近所で大変親しくさせて頂きました。お二方の寛容な手助けがなかったら私の日本での生活は苦勞多いものだったかもしれません。

私の神戸女学院での滞在は終わりに近づこうとしています。芸術的責任のため（欧州や米国での演奏会や授業）、これ以上定期的に参加することは難しくなりました。それでも、私はいつの日か再び「緑の丘」のゲストとして来られることを祈っております。ですから、「さようなら」という言葉ではなく「又いつの日か」という言葉で締めくくりたいと思います。

またいつの日か！

多々の方にまねらわね

前中 明子



音楽学部を卒業して約一年半、当時関西学院でバイオリンを学んでいた私に思いがけなく奥村智美先生留学後の非常勤講師のお話を頂き、さらに一年半後には専任研究助手にして頂いてもう四十年という月日が流れました。私には速いようでいて、また特に最後の十年程は長い日々だったと思えます。

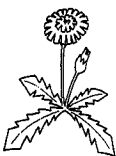
今のように厳しいオーディションも無く就任した後オルガンからは離れ、改めて自らのピアノと同時に教師としての勉強が始まり、常にその時のステータスに相応しい能力獲得の努力を続けて来ました。初めてウィーンの夏期講習に参加した時に得た留学のチャンス

は掴む事は出来ませんでした。が、神戸女学院に勤めさせて頂いたお陰で自分のペースで勉強を続け、多くを得る事が出来ました。今までの人生を振り返って見た時に、豊中教会付属の幼稚園に通ってからずっと私の歩みは神様に導かれていたと思います。そしてキリスト教と音楽が私を神戸女学院に導いてくれました。

学生時代から数えると四十七年の間には特に女学院同窓生の先輩の先生方から多くのご指導を頂きました。今私が定年を迎えるに当たり後任には是非同窓生の専任を・・と願っておりましたが果たせずに本当に残念に思います。現在も非常勤講師としてかなりの同窓生が勤務し熱心な学生指導をして下さっています。いずれ優秀な後輩が専任教員として受け入れられるように日々祈るばかりです。最後の六年間は非力ながら行政にも関わって来ました。その間大学・特に女子

大が次第に苦難の時代になり、長い歴史を持つ神戸女学院と言えども少なからず影響を受けています。そこで現在院長の松沢員子先生はこの時を乗り切る為に大改革を決意され、今後教職員の皆様にとつては勤務条件が今までより厳しくなるようです。音楽学部教職員は勿論、大学の教職員はすでに数年前から知恵を絞って出来るだけ良い学生を確保し、良い教育を維持する為に多大な努力を払っておられます。

私はこの大変な時期の一端だけを経験して定年を迎え幾分ホッとする一面、後の先生方は大変だという事がよく解ります。今後三年間非常勤講師として音楽学部と関わりますが、その後もクラブファンタジー会員の一人として音楽学部をはじめ学院全体を微力ながら出来る限り応援して行きたいと願っております。



卒業にあたって

120 米田華奈子 (Vo)

春うららかな日、岡田山いっばいに咲く桜に囲まれ入学した日からはや四年、月日が経つのは本当に早いと感じております。この四年間本当に沢山の素晴らしい経験をさせて頂きました。中でも最も印象に残っているのはソロリサイタルです。一人の演奏者として舞台を創り上げるといふ事は想像以上に大変で色々な面でも苦労しました。しかしそれを乗り越え成し遂げたという達成感と自信、又自分の音楽を多くの人に聴いて頂ける喜びを心に深く感じた事はこれからの人生の大きな糧となることと思えます。又この四年間、共に悩み励まし合える良き友人達と過ごせたことは何事にも代え難い宝物となりました。

最後に、四年間いつも温かくご指導下さった先生方並びに職員の皆様にご心から感謝致します。

ハンナ・ギューリック・スエヒロ賞

スエヒロ賞

120 内藤 雪子 (P)

ハンナ・ギューリック・スエヒロ記念賞

(大学院)

118 院120 下茂さやか (P)

お慶び

次の方々が受賞なさいました。おめでとうございます。

97 石井 なをみ

02年度全日本ピアノ指導者協会指導者賞

114 115 119 院

谿 博子

安川加寿子音楽賞 第6回松方ホール音楽賞ピアノ部門大賞

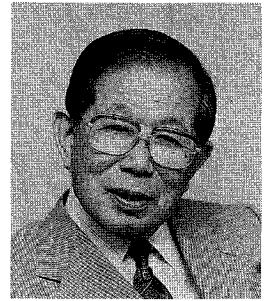
(受賞された方は岡田晴美会長までご連絡下さいませ様お願い致します。)

〈特別寄稿〉

癒しのアートとしての音楽療法

聖路加国際病院名誉院長
日本音楽療法学会理事長

日野原 重明



§まえがき

最近、癒しのアートと題して数多くのCDに様々の音楽が録音されて売られている。私が日本音楽療法学会理事長をしているというので、私に推薦の言葉を書いてもらいたい要請がかなりある。その中のかんりのものは、ただその曲を聞く心が安らぐというので、多くのCD制作会社が音楽家に選曲を頼み、それを会社は大宣伝して売上を大きくしようという商魂からの企画である。

しかし、ここで私の述べる音楽療法は、病の癒しにどのような音楽がよいか、その提供の仕方にはその病人がどのような身体的、精神的または霊的な痛みを悩んでいるかを専門の音楽療法士が医師や看護師からの情報を得て、どのような曲を聞かせるか、患者自身に歌ったり、弾いたりさせ、または音楽療法士とDuoをさせるか、またはそれを個人レッスン形式でやるか、集団として参与させるか、

などを、科学的に、また情緒的にも判断して、これを行って初めてその効があるので、寂しうだから軽快な音楽がよいなどの表面的な思いつきでやることはけつして音楽療法とは言わないのである。

§音楽療法の歴史

そもそも、音楽療法の効果の実績は、紀元前五〇〇年前、旧約聖書のサムエル記上に書かれているように、サウル王がうつ状態になって悩んでいるのを、側近のものが堅琴の上手な少年ダビデに王の枕もとで曲を弾かせて、サウル王の病が癒されたとのことである。

また中国では孔子が笙の音を聞いて心が爽やかになり食事も忘れたとの記載がある。

しかし、音楽療法が学的にその効果が認められ、音楽療法の担当者としての音楽療法士をシステマティックに教育し始めたのは、米国のキャンパス大学のThayer Gaston教授（一

九〇一—一九七〇）であった。彼は次の言葉を遺している。

「音楽がこんなに楽々と人の心に通うことを可能にさせているものが言葉でも可能だったとすれば、音楽などはなかったし、また音楽を生むニードもなかっただろう」と。

米国、ついで英国、カナダなどでは、音楽大学で基礎的な音楽の理論と実技を学んだものが上級で専門性が分かれる時、特に音楽療法士を志願する学生に、医学的知識や心理学などを教える。さらに、病人や障害児や痴呆老人などにどのようなアプローチで音楽療法を用いるかの臨床のコースを卒後一年は指導者の下で、病院や心身障害者の施設や老人ホームで実技の経験をえた者に、音楽療法士の資格認定試験が行われ、これにパスしたものは音楽療法士という専門職の身分が与えられることになっている。

§各国での音楽療法協会
各国の協会の主な設立年次は以下の通りである。

一九五〇年 米国
一九五八年 英国
一九六六年 アルゼンチン
一九六九年 ウルグアイ
一九七一年 イスラエル
一九七五年 オーストラリア
一九八四年 オーストリア
その他、フランス、ドイツ、スイスなどがこれに次いだ。

§日本での音楽療法士の養成の現状

日本ではごく少数のものが病院や老人福祉の現場で、それぞれの工夫で音楽療法を行っていたが、音楽療法士養成を権威づけるために、厳密なカリキュラムの下にある程度音楽の技術をもつ人を訓練し、その学習者の中から認定書を与えるという組織を作ったために出足が非常に遅れた。

日本で実験的に音楽療法を行っている集団、または協会を整理し、その柱となる臨床音楽療法協会が設立

された。その臨床音楽療法協会と日本バイオミュージック学会の両者が合併して、一九九五年二月に、全日本音楽療法連盟が結成された。

本連盟は、国家による音楽療法士の身分法（資格）を制定する機会を熟望し、日本の諸音楽大学に働きかけると共に、この音楽療法士の資格を国家による身分法とする運動を厚生労働省に働きかけ、これが国会にて新しい法律として施行される日が近づいているという現状である。

しかし、その公認の身分法が出来ずまでは、日本音楽療法連盟ないし学会が一定の訓練を終えて現在、事実上音楽療法に携わっている者に、書類審査と面接を行って連盟自体による私的な資格認定が一九九七年から行われ、毎年一回これがなされ二〇〇二年度までに合計七六九名ものが音楽療法士の資格を得ている。もし音楽療法士の身分法が議会で可決されれば公的認定となり、医療施設での

健康保険からの報酬が得られ、病院や福祉施設では音楽療法士を定員化する財的支援が得られることになる。将来国家認定となる場合は、四年制の音大卒業生で一年実地のインターン研修を終えたものが厚生労働省の資格認定国家試験を受験できるようにする見込みである。

日本では、十五年前から私が会長をしていた日本バイオミュージック学会（現在は日本音楽療法学会に統一された）で、音楽が人体にどのような生理的影響を与えるかの実証を示す研究がなされ、昨今はどのような病人にどのような音楽が治療的に働いて効を生じるかのデータが得られつつある。

そこで音楽療法とは何かを定義すると、以下の如くである。「音楽療法とは、心身の健康の維持、回復、増進などといった治療目的を遂行するために音楽を用いることをいう。」それは治療環

境の中で音楽療法士の指示によつてなされることにより、望ましい行動の変容をもたらすような、音楽の計画的な応用行為である。クライエントが、不適応を抱えている自分自身の内面をより深く理解し、また自分をとり巻く周囲の状況を納得して受容することにより、望ましい行動への変容が初めて可能となる。それがさらにはクライエントの社会への適応にも影響するのである。音楽療法士は医療チームの一員として各ケースのもつ課題の検討を行い、これらの会議で得た情報をもとにして作成した治療目標に沿った形で、具体的な活動内容を計画する。セッションの結果は定期的の評価検討され、技法の妥当性が審議される。

§音楽と宗教
ここで一言、音楽と宗教との関係を述べておきたい。私は「音楽と宗教、そして医療」と題した論文を、音楽之友社発行の「新しい音楽療法」（監修・篠田知環）の中に寄せたが、その中で私は音楽と宗教、または宗教に伴う儀式との間には密な関係のあることを述べた。どの国民またはどの種族でも人の心は音楽による影響を容易に受け、神への祈りや賛美には音楽がスピリチュアルな経験を人々の心にもたらせることは疑いもない事実である。それ故、西洋音楽には特にヘンデルやバッハなどによる宗教音楽があるのである。宗教音楽による病む人への音楽療法はこのスピリチュアルな面で強い影響を与えるものと思う。

§私の望むところ
最後にミッシェンスクールである、神戸女学院の音楽学部には私に次のことを期待したい。関東では主な音楽大学は音楽療法科の設置を行う方向で、年々これが増し、国立音大にも音楽療法法の選択希望者への課程が設置をされている。私は、神様から与えられ

たこの音楽というアートが、人の病の癒しに活用されるため、これにあずかる音楽療法士の養成の道が一日も早く開かれることを期待して止まない。学部にはまだ正式にはこの課程は開かれていないが、卒業生の中には既に音楽療法士の資格をもつて臨床の第一線で働いている人が何人かあり、将来学生の教育や卒業後のインターン研修の場は関西にも何か所があるので、音楽療法法の臨床教育の場は既に準備されていることを申し上げたいと思う。

最後に一言、音楽と宗教との関係を述べておきたい。私は「音楽と宗教、そして医療」と題した論文を、音楽之友社発行の「新しい音楽療法」（監修・篠田知環）の中に寄せたが、その中で私は音楽と宗教、または宗教に伴う儀式との間には密な関係のあることを述べた。どの国民またはどの種族でも人の心は音楽による影響を容易に受け、神への祈りや賛美には音楽がスピリチュアルな経験を人々の心にもたらせることは疑いもない事実である。それ故、西洋音楽には特にヘンデルやバッハなどによる宗教音楽があるのである。宗教音楽による病む人への音楽療法はこのスピリチュアルな面で強い影響を与えるものと思う。

最後に一言、音楽と宗教との関係を述べておきたい。私は「音楽と宗教、そして医療」と題した論文を、音楽之友社発行の「新しい音楽療法」（監修・篠田知環）の中に寄せたが、その中で私は音楽と宗教、または宗教に伴う儀式との間には密な関係のあることを述べた。どの国民またはどの種族でも人の心は音楽による影響を容易に受け、神への祈りや賛美には音楽がスピリチュアルな経験を人々の心にもたらせることは疑いもない事実である。それ故、西洋音楽には特にヘンデルやバッハなどによる宗教音楽があるのである。宗教音楽による病む人への音楽療法はこのスピリチュアルな面で強い影響を与えるものと思う。



音楽療法とわたし

89 堀 早苗



平成十四年四月、神戸女学院での音楽療法連続講演会の第一回を 日本音楽療法学会認定音楽療法士の娘彩と、兵庫県音楽療法士会会長の私、親子で受け持たせて頂きました。母校の音楽療法の第一歩ともいえる記念すべき機会を与えて頂き心より感謝いたしております。七十名を超える学生の皆様にお集まりいただき、熱心に聞いてくださるその姿勢に、音楽療法への関心の高さを感じ、嬉しく思いました。

私がお音楽療法と出会ったきっかけは、コンサート活動を続けておりました頃の平成三年 障害者施設でのことでした。演奏をはじめると、率直な感動を直接伝えてくださる観客の皆様の様子に、音楽と、また演奏家との関わりの新鮮さを感じ、とまどいつつも、音楽の偉大な力を改めて考えるきっかけとなりました。この活動も十年を越えました。

平成七年一月、阪神淡路大震災。この辛い経験を通じて、岐阜県音楽療法研究所所長 門間陽子先生のご指導を頂く機会に恵まれ、私自身も被災者でしたが、多くの被災者への心のケアをと、あしや音楽療法研究会を立ち上げました。今年一月にも教会のメモリアルコンサートに親子で演奏の機会を頂きました。現在会員六十名。皆で学びを続けること、できる限り現場での研鑽をつみ、対象者の方々のからの学びを、と心にとめ、ともに歩んでおります。

活動の主軸である、六甲病院緩和ケア病棟。中高部同窓の関本雅子さんが設立当初からの病棟医長、というご縁もあり、病棟オーブンの日から音楽で関わらせて頂いております。日本音楽療法学会理事長 日野原重明先生の『訣れの音楽療法』の心を重んじ、今後も大切な時をご一緒にしていきたいと思っております。

昨年日野原先生のスウェーデン音楽療法視察(全十三名)に親子で参加させて頂く幸運に恵まれ、多くの貴重な経験を通して、学びの日々を過ごさせて頂きました。私たち親子の『宝物』となりました。

平成十四年二月、二十倍の応募者の中から選出され、三年間の学びを終えた全二十七名が兵庫県音楽療法士会第一期の認定を受けました。五月、兵庫県音楽療法士会発足。同時に会長を任せられ重責を感じつつも、月一回の研修会等を持ち研鑽を重ねております。

十月、日本音楽療法学会副理事長 松井紀和先生をお招きし、『兵庫県音楽療法士会発会記念式典及び、特別講演会』を持ちました。岐阜県、奈良市に続く行政の企画から生まれた兵庫県音楽療法士。公との関わりを活かし、より広く社会に

役立つ力となるよう活動を続けたい、と願っております。人と人との出会い、心のふれあいを重んじ、音楽の中に共に過ごす、共に生きるときを大切にしたい、と願っております。その方とのお出会いに感謝し、音楽

の中で少しでもやわらかな QOL(生命の質、生活の質)の高い時をご一緒にしていきたい・・・私たちの一番の願いです。(あしや音楽療法研究会主宰・兵庫県音楽療法士会会長・兵庫県立西宮高等学校音楽科非常勤講師・近畿福祉大学非常勤助手(音楽療法))

2002年度公開講座・公開レッスン

- 1. 第1回 音楽療法連続講演会「音楽療法とは」 4月24日
89 堀 早苗氏 ・ 堀 彩氏(日本音楽療法学会認定音楽療法士)
- 2. 釜洞祐子氏 オペラアリア公開レッスン 5月13日
- 3. 第2回 音楽療法連続講演会「高齢者の音楽療法」 5月30日
90 筒井 恵子氏
- 4. 角倉一朗先生 公開講座「バッハとオルガン」 6月8日
- 5. カジミューシュ・ギェルジョード(シヨパン音楽院教授)ピアノ公開レッスン 6月10日
- 6. 三善 晃氏 特別講座 6月14日
- 7. 古澤 巖先生 ヴァイオリン公開レッスン 6月24日
- 8. 第3回 音楽療法連続講演会「米国音楽療法教育の現場から」 6月28日
117 小竹 敦子氏
- 9. デイナ・ヨッフエ (1975年シヨパンコンクール第2位) ピアノ公開レッスン 7月3日
- 10. 角倉一朗先生 公開講座「バロック時代の音楽と社会」 7月6日
- 11. 釜洞祐子氏 声楽公開レッスン 10月9日
- 12. 第4回 音楽療法連続講演会〈特別講演会〉 10月26日
「私の新しい健康感と音楽」日野原重明先生(日本音楽療法学会理事長)
「心身国際栄養医学講座」堀江良一先生(島根医科大学教授)
- 13. 角倉一朗先生 公開講座「ライブツイヒの都市と音楽」 11月1日
- 14. A. ピクル客員教授 ピアノ公開レッスン 12月4日

学院内で催される公開レッスン・講座をお知らせします。新規に聴講希望の方は、お申し込み下さい。岩村 由紀

音楽を通じて

心のふれあいを

89 山田由紀子



私が「音楽療法」と言う言葉に出会ったのは、八年ほど前のことです。何かボランティアをしたいと思っていたときに新聞で音楽を使った支援があると知り、勉強方法を模索していました。丁度その頃、友人の堀早苗さんとお話をしていて偶然音楽療法の話題になり、堀さんも勉強されていることが分かり仲間に入れていただきました。今では、関西でも勉強できる場がたくさんあります。当時は見当たらなかったのですが、何回も出向き、日本音楽心理学会音楽療法懇話会の研究会に参加していました。

二年前に全日本音楽療法連盟(現 日本音楽療法学会)の音楽療法士として認定され、現在、高齢者や障害児の方にほぼ毎日お目にかかっています。高齢の方

たちとは、特別養護老人ホーム、グループホーム、老人保健施設、保健所、地域の独居高齢者のための昼食会などでお会いします。そこで、若い頃に親しまれた歌を中心に歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたり、合奏をしたり、おしゃべりを楽しんだりして、心身の活性化を図っています。何らかの障害をもっている子どもたちとは、音や音楽を通してコミュニケーションを図ります。子どもたちが発する声や音、歩く姿などからそのときの気持ちを感じ、音や音楽で返していきます。ですから私にとって一番大切なのは、感性を磨くことなのです。「見る」のではなく「観る」、「聞く」のではなく「聴く」姿勢が必要で、人は、それぞれ固有のリズムを持っています。それは心拍や脈拍などの生理的なものもありますし、育った環境によって自然に身につく精神的なリズムもあります。また、その日のリズムもあります。それを同じように感じるこ

が出来れば、子どもたちも他者の存在を感じ、信じてくれます。そして音楽を通して交流することにより、子ども自身に内から発達しようとする意欲が芽生えてくるのです。それをサポートし援助していくのが音楽療法士の仕事だと考えています。大学の四年間で音を感じ、響きを味わい、表現することを学びました。音楽療法の実践でも同じです。多くの方たちと関わる中で、新しいことを発見し様々な音を味わいますので、対象者の皆さまに育てていただいていることを感じます。

私にとって、中高部から大学までの十年間に神戸女学院で学んだ「愛神愛隣」の精神は、まさに音楽療法の実践における基本姿勢となつていきます。今後も「セラピスト」と「対象者」としてではなく、共に感じ、共に楽しみ、「人」と「人」との深い交流を目指していきたいと思っています。

高年齢者における音楽療法の取り組み

90 筒井 恵子

昨夏、思いもかけず母校にお招きいただき、私の体験をお話させていただく機会を頂戴し、大変光栄でした。私達の心の中の音楽は、単純に音楽だけとして存在しているのではなく、その人の人生、社会や情景、そして生活の中での関わりと深く結びついています。私は高年齢者との関わりの中でいろいろな事を教えられ、音楽する事により自分自身が癒されてきました。

特別養護老人ホームの施設長になった平成八年から、週一回の音楽療法のセッションを教え子達の協力を得て、本格的に取り組み始めました。「年寄りの一年は短いが一日は長い」と言われます。単調になりがちな生活を少しでも変化あるものにするため、様々なリハビリやレクリエーションを



取り入れています。その中でも、音楽療法は有効なりハビリティです。

《高年齢者の音楽療法の目的》
身体機能や大脳機能の維持・減退予防／痴呆の進行予防／楽しさの提供／連帯感の共有／ストレス軽減など

他のリハビリが難しい程度の方にとっても音楽は良い刺激になり、時々音楽に合わせて指先や足先を動かしていたりされます。また歌にまつわる思い出の回想につながり、脳の刺激や発語へのきっかけともなります。今とは違い昔は、時がゆっくり流れ、一つ一つの歌を繰り返し歌われていたので、何番もの歌詞を覚えておられ驚かされます。

《内容》
季節に合わせた唱歌や童謡・わらべ歌が中心(歌謡曲や演歌は年代の開きがあるため、民謡等と共に数曲取り混ぜる)／歌唱やそれに合わせて色々な体操／太鼓(パーランク)・鈴(高齢者用)・シエーカー・トインチャイムなどの合奏／

(全日本音楽療法連盟認定音楽療法士
・日本音楽療法学会近畿支部倫理委員
・音楽療法グループ「アン・ディ・ム
ジック」代表)

CD等に合わせてボールやパ
ルーンでの運動など

《留意点》

痴呆の方に安心感を与え
るためプログラムはパター
ン化しているが臨機応変に
流れに沿う／馴染みの曲に
季節感を盛りこみ話のキャ
ッチボールをする／情感を
大切に流れた持たせる
／能動的音楽療法的なもの
(自分で演奏)を中心にす
る／テンポはゆっくり／音
域は低め／アイコンタクト
をとる／大きな声で明るく
はつきりと／自由参加／戦
争にまつわるものはデリケ
ートに扱う。など

音楽の情動に及ぼす影響
は、音楽に携わる者なら誰
しもが経験した事があるは
ずです。生きる勇気を与え
られたり、涙が止まらなかつ
たり、心が浮き立ったりと；
利用者の方々の心をほぐし
昔の良い時代を懐かしむと
共に、心の安定に音楽療法
は欠かせないことを日々実
感しています。

(特別養護老人ホーム愛光施設長。
くらしき作陽大学、岡山県立大学短大
部・中国短期大学、山陽女子高等学校
非常勤講師)

米
国奮闘記

夢を追いかけて

117 小竹 敦子



長年温めていた「音楽療
法士」の夢を叶える為に渡
米したのは平成十二年、大
学卒業直後の夏でした。外
国での一人暮らし、語学力
の不足、食事の心配まで、
考えれば考えるほど不安一
杯でしたが、「どうにかな
る。」と、これが若さの
特権でしょうか。

ヴァージニアにある州立
ラドフォード大学の大学院
に籍をおき、まず大学課程
の心理学、生理学、解剖学、
音楽療法学の履修に専念す
る事から始めました。奥深
い知識が要求され、疑問が
湧いたらその解決に励み、
知れば知るほど疑問が湧
き・息つく暇もない日々
の連続でした。まさに無我
夢中。おかげで寂しさなん
か何処へやらでした。
米国でも新分野である音
楽療法は、未知の事も多く

答が教科書にあるとは限り
ません。教授や友達からだ
けでなく、自分自身で探り
出すという積極的な取り組
みが必要です。実習では定
期的に教授から助言がもら
える他、実演の方法、記録
のつけ方、言葉の使い方、
セラピストとしての姿勢な
ど、細かい事まで生徒同志
間で活発な意見交換を行
います。多くの情報を取り入
れるためにも、ネットワー
ク作りは大切な財産です。
大学院では、カウンセリ
ング技法やセラピストとし
ての資質を重視されます。
深層心理と音楽を融合させ
た技術のトレーニングや、
異文化宗教学などの一般論
を学びながら、人間の内な
る心の世界を探っていきま
す。学生にも自己を見つめ
る作業が要求され、自分と
音楽の関係に改めて目見ぬ、
音楽の持つ力や有効性を実
体験する事になります。
最終学期には個人の研究
をまとめ、口頭試問を終え
て卒業資格を得ます。私は
「海外駐在員の妻のストレ
ス」をテーマに、目下必死
で研究中です。

石川康子著

「原智恵子 伝説のピアニスト」

(ベスト新書 680円)

原智恵子先生(元神戸女学院音楽学部教授)につい
ての本が出版され、昨年毎日新聞で次のように紹介さ
れました。

『1914年神戸須磨に生まれ、13歳でパリに留学、当時の困難を克服してパリ音楽院を卒業した。37年ショパンコンクールで15位になつたが、彼女の演奏に感動していた観客は納得せず会場は騒然となり異例の「聴衆賞」が贈られた。また53年コンセル・バドル交響楽団の演奏会でベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を演奏した折にはアンコールが五度六度と続き、まさに日本人ピアニストの快挙であった。しかし日本では広く知られていない。チェロ奏者のかサドと結婚し、海外で暮らしていたことにもよるだろうがそれ以上に当時の日本の音楽界が学閥派閥に影響された閉鎖的な社会で、海外で脚光を浴びた人間に冷たかったからではないかと著者は推測している。

病院にいる高齢の彼女を訪ねていく終章は、涙なくしては読めない。(要約)



卒業後には六ヶ月のイン
ターシップが待っていま
す。これを経験してやっ
と、米国音楽療法士認定のため
の受験資格が取れるのです。
私は色々な患者さんとの出
会いを持てるようにと考
えて、州立帰還兵病院での実
習を希望しています。この
実習は、プロとして働くた
めの最後の難関ですが、一
人前の療法士として羽ばた
けるように、さまざまな経
験をつみたいと、今から楽
しみにしています。勿論不

安も一杯なのです。
目標達成まで、あともう
ひと頑張り。でもこれは私
の終点ではなく、まさに私
れから私の音楽療法士と
しての出発点です。良い療
法士であるためには、まず
自分自身が心身共に健康で
ある事を心がけ、音楽を糧
として自分を磨き続けてい
きたいと思っています。
(12面に関連記事)

(米国 ヴァージニア州立
ラドフォード大学大学院在学中)

大澤寿人先生

没後五〇周年

(元音楽学部教授)



一九三九年より一九五三年(一時期中断)、音楽学部で多くの授業をして下さいました大澤寿人教授の没後五十年を迎え、「芥川也寸志メモリアル、オーケストラ・ニッポニカ第一回演奏会」日本の埋もれた作曲家達」で、先生の作品、ピアノ協奏曲第三番変イ長調(一九三六年)が、野平一郎先生(元音楽学部非常勤講師)のピアノ、本名徹次氏指揮により、本年二月二日東京紀尾井ホールで演奏されました。そしてこの模様は、三月十六日、NHK教育テレビ「芸術劇場」でも放映されました。この演奏会のプログラムに評論家の片山杜秀氏が、大澤先生のことを大変よく紹介して下さいましたので、その抜粋を転載させていただきます。

「才能、業績のわりに不当に忘れ去られている作曲家は、どの国、いつの時代にも居るものだが、大澤寿人は近代日本に於けるその最たるひとりだろう。彼は一九〇七年八月一日、神戸に生まれた。父親はイギリスに留学し製鉄技術を身につけ、神戸製鋼の創業に参画したのち、独立して大澤工業を起こした技術者兼経営者で、十分な財産家だった。大澤は何不自由なく育ち、キリスト教徒の母親の導きで少年期からオルガンや合唱に親しみ、一九二一年に関西学院中等部に入學してからは、神戸在住の白系ロシア人やスペイン人よりピアノを学び、同学院高等商業学部に進学後は、学校のグリークラブ、管弦学部の指揮者等として活躍し、ピアノの腕も磨き、理論を独習して、一九三〇年に卒業後はすぐアメリカに留学。ボストン大学とニューイングランド音楽院で、コンヴァースとセツシヨンズについた。アメリカで大澤はその才

能を買われ学位を取得、高額の奨学金を受け、ときには亡命間もないシェーンベルクの教室に出入りし、ボストンで室内楽や歌曲による自作発表会を開き、日本人として初めてボストン交響楽団を振って《小交響曲》(一九三二年)を自作自演した。一九三四年、アメリカでの学業を終えた大澤はパリに渡り、エコール・ノルマルに籍をおいてナディア・ブーランジェに師事し、最晩年のポール・デュカスのレッスンも数回受けた。デュカスは大澤の作品をモダンすぎるといつて憤っていたという。またこの頃、ルーセル、フローラン・シュミット、イペール、タンスマンらとも交流した。そして大澤はコンセル・パドゥルー管弦楽団を指揮して自作の交響曲第二番、ピアノ協奏曲第二番(独奏はジルリマルシエックス)、更にラヴェルやベルリオーズを披露し、オネゲルらの称賛を受け、一九三六年、意気揚々と六年ぶりに帰国して、東京で

新交響楽団(NHK交響楽団)、大阪で宝塚交響楽団を振り、交響曲第二番、ピアノ協奏曲第二番(独奏レオ・シロタ)、《小交響曲》、組曲《路地からの断章》などを発表した。しかしその評価は十分なものではなかった。当時の日本のオーケストラや聴衆にとつて、後期ロマン派、ドビュッシー、ラヴェル、ストラヴィンスキー、プロコフィエフ、パリの六人組にガリシユインまでを消化し、そのうえ十分な職人芸に裏打ちされた大澤の作品は、恐らくモダン過ぎ、難し過ぎた。戦後のアメリカ占領時代になると、大澤は大阪ラジオ・シンフォネットを組織し、はじめJOBK、のち大阪朝日放送でレギュラー音楽番組を持ち、毎週三〇分、演奏曲目すべての編曲指揮にあたった。このような仕事の一方、大澤は、神戸女学院で教鞭をとり、舞台や映画のための作曲も続けるなど、激務に追われ続け、念願だった交響曲第四

番の作曲も果たせぬまま、一九五三年十月二八日、まだ四六歳で、脳溢血により急逝した。

そしてそのあと、日本の楽壇は、急速に大澤を忘れていった。一九三〇年代のうちにありあまる才気を漲らせてパリから帰り、作曲から演奏まですべてをこなした大澤は、他の音楽家たちからすると、やはり敬して遠ざけたい存在だったのだろう。その作品に興味を示す演奏家も研究者もあらわれぬまま、彼の楽譜は一部の出版譜を除き、死後約半世紀も神戸の大澤家に埋もれ続けた。本日の演奏はその本格的再評価のための嚆矢(こうし)となる筈である。」

大澤寿人作曲「ピアノ協奏曲第三番 変イ長調」のCDが、ミッテンバルト社より四月下旬に発売されます。(市販はされません)ご希望の方はクラブファンタジーが取りまとめて注文致します(価格未定)。

91 植田あさ子まで

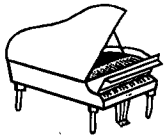
二〇〇二年度の「クラブファンタジーの夕べ」を、十一月十四日(木)宝塚ベガ・ホールにて開催致しました。前年に「クラブファンタジー発足50周年演奏会」も無事に済ませる事が出来、新たな思いで取り組んだ演奏会でありました。会員の皆様方のご協力によりまして、盛会のうちに終える事が出来ました。今後も充実した演奏会を開催してまいります。お願い致します。



クラブファンタジーの夕べ
2002年11月14日(木)
於：宝塚ベガ・ホール

G. カサド G. Casadó	無伴奏チェロ組曲 Suite per Violoncello solo	チェロ：黒田育世
I. 前奏曲-ファンタジア Preludio-Fantasia		
II. サルダーナ(舞曲) Sardana(Danza)		
III. 間奏曲と終曲 Intermezzo e Danza Finale		
F. シュトラウス F. Strauss	ホルン協奏曲 作品8 Concerto op. 8	ホルン：細見由紀子 ピアノ：小幡 麻紀
J. ブラームス J. Brahms	六つの小品 作品118 Klavierstücke op. 118	ピアノ：工藤 真史
猪本 隆	さざんか 虹よ	ソプラノ：芦原 昌子 ピアノ：夏川美知子
G. ロッシーニ G. Rossini	フィレンツェの花売り娘 La Fioraia Fiorentina	
P. マスカーニ P. Mascagni	アヴェ・マリア Ave Maria	
J. シュトラウス J. Strauss	喜劇「こうもり」より ふるさとの空を見たら(チャルダッシュ) Opera "Die Fledermaus" ~Klänge der Heimat(Csardas)	
T. アルビノーニ T. Albinoni	アダージョ 短調 Adagio g-moll	オルガン：太宰 まり
M. レーガー M. Reger	序奏とパッサカリア 二短調 Introduktion und Passacaglia d-moll	

クラブファンタジー
後援について



クラブファンタジーでは、演奏会をされる方の後援をしております。ここに昨年度の後援状況をお知らせ致します。今後、演奏会の後援を希望される方は、後援依頼書を左記までご請求下さい。

90 松村美知子

2002年度 後援演奏会

1. 末木みどり ヴァイオリンリサイタル (113 Vn)	4月6日	15. REIKO OKAWAUCHI Piano Recital	10月3日
2. ドヴォルザーク室内オーケストラ協奏曲の愉しみ 藤田 知子 (95 P)	4月7日	大川内玲子 (87 P)	
3. 室内楽の愉しみ Vol.1 山本賀世子 (104 P)	4月7日	16. 野村幸代ピアノ・リサイタル (102 P)	10月11日・10月18日
4. 澁谷亜由美 帰国記念ピアノリサイタル (112 P)	4月13日	17. 小池 泉ピアノリサイタル (105 P)	10月20日
5. Leaf Concert (リーフ コンサート) 荻野 育子 (106 P) 濱田真理子 (110 P) 高孝 美帆 (110 P) 山岸 陽子 (110 P) 深田 麻実 (111 P)	5月4日	18. SoloとDuoの会 井澤 利とその門下生 松田真理子 (91 P) 角田 信江 (92 P) 松本素矢子 (101 P) 氏田 敬子 (101 P) 村井 昌子 (107 P) 岸田 京子 (109 P) 黒田 泉 (110 P) 外山 陽子 (111 P)	10月27日
6. 顕谷三綾子ピアノリサイタル (85 P)	5月15日	19. 中出悦子チェンバロリサイタル (105 P)	11月3日
7. 秋田直美チェンバロリサイタル (109 Cem)	5月19日	20. Plaisir de Concert 住吉 朋子 (115 P) 江本茶梨奈 (116 Vn) 久保 明子 (116 Cl) 大西 彩子 (116 Vc) 仲井 淑子 (117 Vn)	11月4日
8. 田丸貴子・谿 博子デュオリサイタル 谿 博子 (114 P)	5月26日	21. LUMIERE 21 福嶋 千夏 (113 Vo) 浦部 紘子 (116 P) 井上 美和 (111 Vo) 片山恵以子 (114 P) 難波 玲子 (117 P) 鈴木さやか (117 Vo) 松尾 憲理 (114 P) 中川知英子 (114 Vo) 増永 淑子 (118 P) 青木 里会 (118 P) 乾 智香子 (119 P) 西田真由子 (119 Vo) 四方みどり (119 Vn) 白井 純子 (119 Vo)	11月7日
9. ル・トレフル チャリティーコンサート Vol.3	7月19日	22. ピアノ協奏曲の夕べ ~テレマン室内管弦楽団とともに~ 水見 典子 (119 P)	12月2日
10. LE TRÉSOR 福永麻衣子 (118 P) 増永 淑子 (118 P) 森田 有紀 (118 P) 高濱 由衣 (118 Per) 津久田智子 (118 P) 宇澤 さやか (118 P)	8月24日	23. 石神千代ピアノリサイタル 岩井 千代 (106 P)	12月4日
11. 梅花中学校・高等学校 お昼のコンサート100回記念演奏会 栗山 明弓 (119 Vn) 横田麻衣子 (119 P)	9月7日	24. 宮廷舞踏二つの時代 ~ダンスと音楽で綴る午後のひととき~ 西村 嘉子 (79 P) 林 規子 (100 P)	12月8日
12. クライスコスモス第10回記念コンサート 八尾 典子 (104 P) 小池 泉 (105 P) 稲葉 修子 (107 P) 大塚 紀子 (108 P) 島崎 央子 (109 P) 番匠 愛 (114 P) 岡田 馨織 (114 P) 菅沼由美子 (114 P) 中村真紀子 (116 P) 森下 美和 (116 P)	9月7日	25. 室内楽の愉しみ ~リゼンコ弦楽四重奏団との共演による~ 内田 博世 (100 P)	1月12日
13. 興津健蔵・由紀子 Duo リサイタル 興津由紀子 (76 Vo)	9月8日	26. リゼンコ弦楽四重奏団との共演による室内楽の夕べ 内田 博世 (100 P)	1月15日
14. SCENT OF EUROPE ~ヨーロッパの薫り~ 植松 睦子 (116 Hp)	9月28日	27. 國友京子 岩崎志保デュオリサイタル 岩崎 志保 (115 Vo) 國友 京子 (115 Fl)	3月2日
		28. 加高橋子・黒田育世デュオリサイタル 黒田 育世 (115 Vc)	3月22日・3月28日

ファンタジーコーラス
20周年記念の集い

昨年11月22日、甲東ホー
ルにて「クラブファンタジー
コーラス20周年記念の集い」
が開かれました。

集って讚美歌を歌い会員
相互の親睦を図るとい主
旨でできた同コーラスが、
創立20年を機に、支援の母
体であるクラブファンタジ
ー会員への感謝の意を表す
とともに、更なる発展を願
って、この集いを開催する
こととなったものです。

メンバー
はM54土居
俊子さんを
はじめ、M
89までの十
七人。桑田
糸子先生指
揮の下、讚
美歌、唱歌
メドレー、
ウィーンわ
が夢の町な
どを、二十
年の歩みや



曲目解説のアナウンスを交
えて披露しました。

出演者は自由な服装での
びのびと歌い、若々しいハ
ーモニイが会場に響きわた
りました。当日、会場には
お茶とお菓子が用意され、
幕あいのティータイムには、
出演者とその友人、家族、
同窓生などが、和やかに歓
談する風景が見られました。

クラブファンタジーの岡
田晴美会長は、聴衆への挨
拶の中で、創立以来歌い続
けているメンバーや、八十
歳を越えてなお現役で歌い
続けているメンバー数人に
賛辞を贈られました。最後
には、会場が一体となって
讚美歌「神共にいまして」
を歌い、聴衆の惜しみない
拍手のうちに幕を閉じまし
た。

なお、同コーラスでは、
新しいメンバーを募集して
います。練習日は第二、第
四金曜日。十時半から十二
時まで甲東教会。問い合わせ
せは、89久保章子
まで。

関東支部だより

92 太宰 光子

二〇〇二年度関東支部総
会は五月二十九日、日暮里
サニーホールで約五十名が
参加して開催されました。

総会の後、同窓生による
コンサートが行われ、若手
からベテランまでの熱演に
豊かなひとときを過ごす事
が出来ました。

今年度の総会は五月二十
六日(月)に同ホールにて
開催致します。総会後の講
演会は、讚美歌研究家の手
代木俊一氏に「創設期の神
戸女学院と讚美歌・唱歌を
めぐって」と題してお話を

クラス委員総会の報告

二年に一度のクラブファ
ンタジークラス委員総会が
二〇〇二年四月二十日(土)
めぐみ会館で開かれました。

今回は初めての試みとし
て、昨年と今年の卒業生を
お招きし、クラブファンタ
ジーへの理解を深め、ご協
力をいただくようお願いい
たしました。

讚美歌に始まり、会長挨拶

していたく予定です。手
代木氏は、音楽学部図書室
に数年勤務しておられまし
たのでご存知の方も多いと
存じます。多数ご参加下さ
い。詳細は太宰まで。



挨拶、新旧役員紹介、活動報
告、クラス委員の役割の説
明などで進行了しました。

前中明子音楽学部長、澤
内崇学科長にもおいでいた
だき音楽学部の現状を伺い
有意義でなごやかな会にな
りました。

クラス委員の多くの方々
が、久しぶりの母校を懐か
しみ喜んで下さいました。

寄附

83 山内滋子様(02年永眠)
のご遺族からお申し出を
頂き一〇〇万円。

95 伊吹直子様(02年永眠)
のご遺族からお申し出を
頂き一〇万円。

ル・トレエフル(めぐみ
会大阪地区有志)よりコ
ンサート感謝として一万
円。

119回の皆様から卒業に際
して五万三千三十二円。
以上四件のご寄付を頂き
ました。
厚く御礼申し上げます。

永眠会員

88	88	62	73	88	95	74	99	83	76	68
山口真知子	栗原みどり	原田 宿命	紀 道子	西嶋 敦子	伊吹 直子	岡田 櫻子	水島多美子	山内 滋子	山室 邦子	鎌田 歳枝
03	02	02	02	02	02	02	02	02	02	01
1	11	11	11	9	7	7	6	4	2	4
21	24	18	1	4	23	1	28	29	19	9

〈インタビュー〉

澤内先生にうかがいました

.....

Q. 昨年は音楽学部主催で「音楽療法連続講演会」が催されましたが、今後この分野について、どのような計画をお持ちでしょうか？
A. 現在のところは教職課程と同様のもの、即ち「音楽療法コース」を設けることを考えています。日本音楽療法学会のガイドラインに沿って、音楽学部で履修すべき科目のピックアップを終え、現在は心理学分野でその作業をして頂いている段階です。

Q. 実際に「音楽療法コース」が出来た場合について具体的に説明頂けますか。
A. 音楽学部学生の場合、音楽分野の科目は新たに履修する必要はありませんので、その他の心理学、医学概論などの科目を人間科学部で履修することになります。これについては今年度後期から始められるようにしたいと思っています。

その他に勿論、音楽療法

の科目を履修しなければなりません、その為には専門のスタッフが新しく必要です、開講は来年度以降になるでしょう。

学生にとつては、自分の専攻科目以外にも色々履修、実習をしなければなりませんので、負担が相当大きくなることは確かです。

Q. それならば「コース」ではなく「音楽療法専攻」を新設しては如何でしょうか？
 受験生にとつても選択肢が増えて受験し易くなりますし、受験生が増えれば大学の活性化にもつながると考えられますが.....

A. 現段階においては「ピアノ専攻」「作曲専攻」のよう、「音楽療法専攻」を新たに設ける計画はありません。「専攻」となると、音楽療法の専任が少なくとも一名は必要ですので、今すぐにとつては行きませんが、今開始する「音楽療法コース」についても、果たしてどれだけ希望者がいるか、見てみる必要があるからです。負担が大きくてもこの

コースを取って履修したいという学生が十人、十五人と出てくるようなら、「コース」から「専攻」へ変わる可能性も将来的には有りませう。いずれにしても本大学では、音楽分野は勿論、心理学分野のスタッフも非常に充実していますから、せつかく新しく「コース」や「専攻」を設けるのであれば、少々時間がかかってもレベルの高いものになりたいと強く思うわけですが。

Q. 「音楽療法コース」の授業は卒業生も受けることが出来ますか？
A. はい。聴講生、科目等履習生として受講できる制度があります。又、試験があります。三年からの編入学も歓迎します。大学の教務課、入試課に問い合わせてみてください。

Q. 音楽療法の講演会は今後も続けられますか？
A. はい。出来れば毎月一回位の割合で、今年も開催する予定です。

今日は、本当に有難うございました。

’03年度音楽学部教職員

職名	氏名	学位	備考
音楽学部長	若本 明志		教授
学 科 長	澤内 崇		教授
学生主事	佐々由佳里		助教
教 授	橋 茂		助教
授 講	ボリスベクレフ		
	中村 健	(Cho Orch)	
	西 明美	(Vo)	
	西田 直孝	(Fl)	
	音川 紘一	(P)	
	齋藤 言子	(Vo)	
	澤内 崇	(Com)	
	田中 修二	(P)	
	津上 智実	(音楽学)	
助 教	石黒 晶	(Com)	
	佐々由佳里	(P)	
	橋 茂	(Vo)	
	辻井 淳	(Vn)	
客員教授	志ケミシダ	(P)	
事務職員	河野 有宏		
	藤川まり子		
	松浦 陽子		
(新任)			
非常勤講師	藤田 隆則	(民族音楽)	
	112 藤本真基子	(P)	
	113 池田 重一	(Hm)	
客員教授	アンジェイビクル	(P)	
	上野 晶子	(Cem)	
	瀧本 博之	(Fg)	
	高橋 裕史	(Ob)	
	角倉 一朗	(音楽学)	
	74 奥村 智美	(P)	
	ト田 隆嗣	(民族音楽)	
	105 根岸 一美	(音楽学)	
	105 櫻田真須子	(Vo)	
	105 小池 泉	(P)	
	109 菊本 恭子	(Vn)	
	109 細見由紀子	(Hm)	
	109 雨田 一孝	(Vc)	
非常勤講師	77 前中 明子	(P)	
教授	97 釜洞 祐子	(演奏芸術)	
	木川田 誠	(歌曲研究)	
	109 木下千佐子	(Vo)	
	小林 玲子	(P)	
	近藤 浩志	(Vc)	
	77 前中 明子	(P)	
	109 宮下 朋樹	(P)	
	109 森川 華世	(Vo)	
	111 小幡 麻紀	(P)	
	108 岡田 暁生	(音楽学)	
	109 島 敏子	(P)	
(退任)			

二〇〇二年度

音楽学部定期演奏会

定期演奏会は十一月二十八日(水)、神戸国際会館こくさいホールで行われた。今年のピアノ協奏曲はベートーヴェンの第三番で、ソリストは大学院音楽研究科の二回生を対象に出演者を募り、下茂さやかがオーディションで選ばれた。中村健教授の指揮に支えられ、定期演奏会の独奏者という大役を立派に果たしていた。

又一、二回生コーラスによる鈴木輝昭作曲「宇宙の果物」は美しいメロディーで声の質も揃って抑揚もあり、本山秀毅講師の指揮による若々しい演奏であった。

続いて辻井淳助教授によるオーケストラで二曲が演奏された。グリーンカ作曲「ルスランとリュドミラ」は軽快な楽しい曲で、ルーセル作曲バレエ音楽「蜘蛛の饗宴」は静かな部分に聴かせどころのある曲で、それぞれに努力の成果が表れていた。最後は三、四回生によるブラームス作曲「ネニ

エ」(哀悼曲)で、混声合唱とオーケストラの曲を女性合唱とオーケストラに編曲して演奏された。ドイツ語の発音に苦労したとのことであった。

アンコールでは、中田喜直作曲の「ねむの花」が演奏された。

入場者数は約六五〇名。
(音楽学部事務室)



春の新人演奏会

二〇〇二年度卒業演奏会(第百二十回)は、三月三日、五日、六日、大学院音楽研究科修了演奏会(第二回七名)は、二月二四日、二五日に神戸女学院講堂で行われました。

また大学院音楽研究科一年次生(九名)による演奏会は、二月一九日音楽館ホールで行われました。本年度卒業生から選ばれた方達による新人演奏会が、

四月十七日(木)午後六時半よりいずみホールで、例年どおりクラブファンタジー協賛で行われます。クラス委員を通じて入場券をご依頼申し上げますので、皆様ご協力よろしくお願ひ致します。(入場料千円)

又、大学院音楽研究科修了生から選ばれた方達による第二回修士課程修了披露演奏会が、五月十二日(月)午後六時半より宝塚ベガホールで行われます。どうぞお越し下さいませ。(入場料千円)

音楽学部新人演奏会 4月17日(木)	いずみホール
(P) 服部 愛 (Hp) 寺澤 彩	中村 公美子
位田真理子 (Cb)	山口 智子
増永 智子 (Fl)	和田 山田 愛子
松川 峰子 (Vo)	山田 愛子
内藤 雪子	山川みさき
相良 容子	
(Org) 早野紗矢香	
東京読売新人演奏会 5月3日(土)	東京文化会館大ホール
(P) 内藤 雪子	
関西新人演奏会 5月17日(土)	いずみホール
(Cb) 中村 公美 (Vo) 山田 愛子	
兵庫県大学新人演奏会 5月17日(土),18日(日)	兵庫県民小劇場
(P) 服部 愛 (P) 位田真理子	
大学新卒推薦音楽会 4月20日(日)	西宮市民会館アミティホール
(P) 増永 智子	
(アンサンブル)	
(Hp) 寺澤 彩 (Fl) 山口 智子	
大学院音楽研究科第二回修士課程修了披露演奏会	
5月12日(月)	宝塚ベガホール
(P) 小和美貴子 (P) 宮階 郁子	

会費納入方法 変更のお知らせ

毎年千円ずつ年会費を納めて頂いておりましたが、「毎年払うのは面倒」「一括して払えないか」という声が多く、経費の節減も考慮した結果、次の様に変更させていただきます。

西暦年号末尾の「5」の年と「0」の年に、五年分まとめて 五千円を払い込む

2005年度から新しい方法となりますが、今回その準備段階として、1990年度からの納入状況を確

認して頂き、もし未納分がありましたら2003年、2004年の二千円と合わせてお納め頂きたく存じます。後日、皆様に納入状況のお知らせと振込用紙をお送り致しますので、どうぞご協力よろしくお願い申し上げます。

認して頂き、もし未納分がありましたら2003年、2004年の二千円と合わせてお納め頂きたく存じます。後日、皆様に納入状況のお知らせと振込用紙をお送り致しますので、どうぞご協力よろしくお願い申し上げます。

名簿担当より

住所変更された場合は、必ず左記へお届け下さい。

三成 育子

（苗字変更の場合は、ふり仮名をお願い致します。）

本年度役員

会 長	岡田晴美
副会 長	稲村邦子
副会 長	岩村由紀
	高山和美
	84 蓮江久美
	90 松村美知
	91 大内山裕美
	91 植田あさ
	93 羽溪慶
	93 三成育啓
	93 三木
会計監査	70 木村季子
	81 伊藤秀子

編集後記

ファンタジーだより No. 29をお届け致します。私立女子大を取り巻く状況の厳しい中、音楽学部でも社会との繋がりを深める方向で様々な試みが行われているようです。その内、昨年の「音楽療法連続講演会」でお話し下さった方々を中心に、そのお働きを、より多くの皆様にご紹介致したく、今回の特集を組みました。殊に日野原先生にはご多忙の中、長文のご寄稿を賜り役員一同心から感謝致しております。この他にも各地で同窓生が活躍のことと存じます。役員まで情報をお寄せ頂けましたら幸いです。

2003年度 クラス委員

53	藤土浅原山高那山	藤土浅原山高那山	藤土浅原山高那山
54/55	56	57/58	59
60	61	62	63
64	65	66	67
68	69	70	71
72	73	74	75
76	77	78	79
80	81	82	83
84	85	86	87
88	89	90	91
92	93	94	95
96	97	98	99
100	101	102	103
104	105	106	107
108	109	110	111
112	113	114	115
116	117	118	119
120			